



開館時間のご案内

本館 * 火・金・土・日	9:30~17:00
水・木	9:30~19:00
分室 * 月~金	9:30~17:00
土	9:30~13:00

ツンドク

2022 年 7 月 発行 第 14 号

発行: 市立名寄図書館

名寄市大通南 2 丁目 ☎2-4751

『ツンドク』という名前には「本がどんどん積読(つんどく)になるくらいおもしろい本を紹介します」という気持ちが込められています。

こんにちは。市立名寄図書館です。

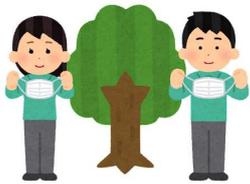
新型コロナウイルスの感染拡大から 3 年目を迎えました。

人と身体的距離をとり接触を減らすこと、マスクをすること、手洗いをする事など、感染予防のための「新しい生活様式」にも馴染んできましたが、この春、厚生労働省より新たなマスク着用の考え方が発表されました。

基本的な感染対策としてのマスク着用はこれまで通りですが、

○屋外で人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、人と距離が確保できなくても、公園での散歩やランニング、徒歩や自転車での通学、人とすれ違うなど会話をほとんど行わない場合

○屋内で、人との距離が確保できて、かつ会話をほとんど行わない、距離を確保して行う読書、芸術鑑賞をする場合は、マスクを着用する必要がないとのことです。



特に夏場は熱中症予防のため、屋外でマスクの必要のない場面ではマスクを外すことを推奨するそうです。マスクが外せない場合でも、こまめな水分補給を心がけましょう。



※厚生労働省 HP 参照

📖 バードコールを作って鳥を呼んでみました

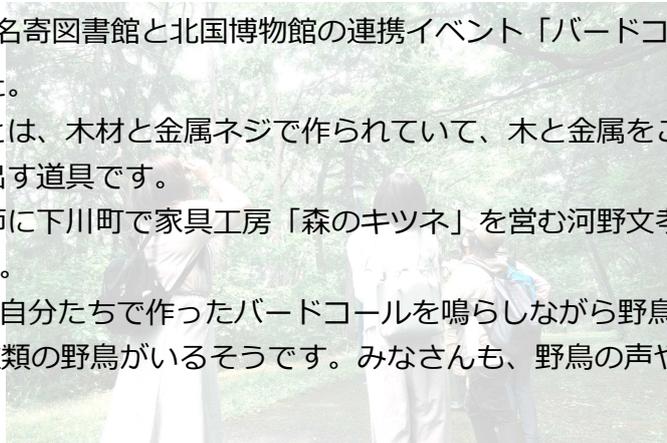


6 月 19 日、名寄図書館と北国博物館の連携イベント「バードコール製作 & 野鳥観察会」を実施しました。

バードコールとは、木材と金属ネジで作られていて、木と金属をこすり合わせて鳥の鳴き声に似た音を出す道具です。

今回は、講師に下川町で家具工房「森のキツネ」を営む河野文孝さんをお招きして、図書館でバードコールを製作しました。

その後、北国博物館に移動して、自分たちで作ったバードコールを鳴らしながら野鳥の観察をしました。博物館の裏の林には、たくさんの種類の野鳥がいるそうです。みなさんも、野鳥の声や姿に癒されにお出かけしてみたいはいかがでしょうか。



📖 土曜ビブリオトークに参加してみませんか？



毎月、第 2 土曜日 13:00 から開催している「土曜読書会」が、「土曜ビブリオトーク」に名称が変更になりました。

「読書会とかビブリオトークって、何だか難しそう…?」と思いませんか？全然そんなことはありません！

図書館が好き、本を読むのが好き、話をしたり聞するのが好きな人たちが集まって、それぞれ自分が推している本を紹介しあう会です。

参加者みんなが紹介できるよう、ひとり 5 分で紹介するという形式ではありますが、ガチガチのルールではなく、ゆるく楽しく本に関する話を共有する場となっています。

見学だけの参加も歓迎していますので、ぜひ来てみてください。





「知ってよかったと思える本」

『世界はなぜ仲良くできないの？』

竹中千春／著 阪急コミュニケーションズ 2004年 Y319/タ ヤングアダルト



ウクライナとロシアの戦争が始まった時は、あまりにも衝撃的で本当に起きていることなのかとただ驚くばかりでした。毎日ニュースや新聞等で多くの人が犠牲になっていることを知ると、私たちは「なぜお隣同士で仲良くできないんだろう。どうして戦争なんかするんだろう」と思ってしまう。

この本はそんな疑問をわかりやすく説明してくれていて、世界の先頭にたって軍事支援をしているアメリカのこともよくわかります。

「歴史の見方はひとつではないということ」

『ある晴れた夏の朝』

小手鞠い／著 偕成社 2018年 Y913.6/コ ヤングアダルト



「原爆の投下は、戦争を終わらせるために必要だった」この主張をどう思いますか？この小説では日系アメリカ人のメイを主人公にアメリカの高校生8人が、原爆投下の是非について肯定派と否定派にわかれて公開討論をします。

討論が白熱し感情的になることもあるけれど、自分とは違う意見の相手にも敬意を持つことを忘れない。私はそこに平和へのヒントがあるような気がします。

討論会ではどんな結果を出すのか、読んでみてください。

「戦争の悲惨さ、戦後の希望を追体験する」

『AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争（光文社新書）』

庭田杏珠／編著 渡邊英徳／編著 光文社 2020年 210/エ 一般



「第二次世界大戦」という言葉は知っていても、どこか遠い過去の出来事で、戦争は教科書やテレビの話のように感じている人もいるのではないのでしょうか。

この本は、戦争がたった80年ほど前に実際に起こった事だと実感させてくれます。白黒の写真でしか知らなかった出来事が、色があるだけで途端に現実味を帯びてくるのです。この本の写真は、私たちが現在、平和に生活できているありがたさや幸せに気づかせてくれます。

📖 YA新着（4月～6月）

4～6月に新しく図書館に入った本を紹介します。

国際情勢を会話形式でわかりやすく解説する『13歳からの地政学』田中孝幸／著（東洋経済新報社）、福井県立若狭高校の生徒と教師が宇宙食を開発する『さばの缶づめ、宇宙へいく』小坂康之／著（イースト・プレス）、歴史上の人物も登場する平安時代の猫日記？『天邪鬼な皇子と唐の黒猫』渡辺仙州／著（ポプラ社）など、25冊が新しく本棚に並びました。

📖 マンガもこっそり紹介します◎

『戦争は女の顔をしていない』1～2巻が本館にあります。※3巻も貸出予定

小梅けいと／作画 スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ／原作 KADOKAWA 726/コ

ノーベル文学賞受賞作品を漫画化！ソ連で戦争に従事した女性たちのノンフィクション!!

図書館からのお知らせ

HP、twitterでは新着本やイベント情報を発信しています。

ぜひフォローをお願いします。



市立名寄図書館

@nayoro_library

